

経験をともに意見を発表する学生



鬼北の魅力と問題点を発見

◎城西国際大学環境学部・町内研修

8月25～31日の7日間、千葉県の城西国際大学環境学部の学生12人が町内で研修を行いました。研修中、学生たちは広見川の源流を探するため、川を辿って行くなど、町内の自然を体感。その経験をともに、「どうやってそれらを生かすか」について吟味し、自分なりの意見を構築しました。30日に行われた発表会では、学生ならではの自由な視点から見た問題点や改善策が多数発表され、地元の人たちは真剣な表情で聞き入っていました。

保育園児も大人顔負けの取り組み



「のこった！」意地のぶつかり合い

◎六地藏奉納相撲大会

六地藏奉納相撲大会は8月24日、武左衛門広場で行われました。大会ではまず、みどり保育園園児らによる取り組みが行われ、小さな体から繰り広げられる懸命な戦いに、土俵の周りからは温かい声援が送られていました。その後、町内の小学生らを対象とした団体戦および個人戦が行われ、真剣な表情で勝負に挑む子どもたちは、大人顔負けの取り組みを披露。その迫力ある取り組みに、観客たちの応援にも力が入り、土俵際の攻防に大きな歓声が上がっていました。

ジャンボおにぎりに挑戦中



この時期ならではの味覚味わう

◎新米祭2013

9月8日、道の駅・森の三角ぼうしで「新米まつり2013」が開催されました。会場では、新米の販売のほか、新米で作ったおにぎりの無料配布も行われ、訪れた人たちは一年のうちで今しか味わえないそのおいしさに、思わず笑みを浮かべていました。また、ジャンボおにぎり早食い競争では、お茶碗約3杯分の大きなおにぎりが登場。挑戦者たちは周りの人たちの声援を受けながら、豪華景品目指して、無我夢中でおにぎりを口いっぱい頬張っていました。

秋の味覚を味わう子どもたち



秋の訪れを体感できる食事会

◎奈良川河川敷いもたき

9月の金曜・土曜日に奈良川河川敷で、鬼北の秋の風物詩である「いもたき」が行われました。昨年度に開催された「いやし博」を機に6年ぶりに復活したこの「いもたき」。訪れた人たちは、友達や職場の仲間たちとの会話を楽しみながら、キジの出汁のきいた秋の味覚を味わっていました。また、期間中は、町内の商店街等で使える商品券が当たる抽選会も行われ、参加した人たちはクジを引くたびに一喜一憂。秋の夜長を楽しみむ人たちの賑やかな歓声が続いていました。